

山崎遺跡 第2地点

遺跡名	山崎遺跡
よみがな	やまざきいせき
調査地点	第2地点
主な時代	縄文時代前期（約 6500～5500 年前）
調査地	大字水子 172-4、173-4 等
調査面積	2992.81 m ²
調査期間	令和3年8月23日～9月1日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代竪穴住居跡1軒、縄文時代炉穴1基</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文土器、石器</p> <p>【概要】</p> <p>山崎遺跡は、「せせらぎ菖蒲園」の愛称で親しまれている山崎公園の裏手、細長い舌状台地の先端部に位置しています。台地上の遺跡ではありますが、水子地区で多く見つかっている他の遺跡よりもやや標高の低い位置に立地していることが知られています。</p> <p>本遺跡での調査は1970年代の第1地点調査以来となる、約45年ぶりのものでした。調査事例の少なさから、実態については不明な部分も多い遺跡ではありましたが、今回の調査で縄文時代前期の竪穴住居跡1軒、縄文時代早期の炉穴1基が確認され、中心部からは外れるだろうと目されていた遺跡南部にも遺構の分布が及んでいることなど、新しい知見がありました。</p>



縄文時代前期の竪穴住居跡調査状況



縄文時代前期の竪穴住居跡完掘状況



住居跡から出土した縄文土器



住居跡から出土した縄文土器（上）、石器（下）